

[北海道e-水プロジェクト2020活動内容]

[ぼくたちの守るもの 水辺の命]

ぼくたち旭山自然調査隊は、2016年に旭山記念公園やその周辺の都市環境林に残る生き物の繁殖地を守るために結成されました。主なメンバーは近隣に住むぼくたち小学生です。

町内会長さんや校長先生にアドバイスをいただき、今では、旭山市民活動協議会のみなさんや旭山町内会、近隣小学校、公園指定管理者さん、中央区土木センターさん、ぼくたちのお父さんお母さんと多くの人の協力をいただき活動しています。

ぼくたちは月に1回観察会を行い、旭山新聞を発行しています。

活動テーマは多様性を守り希少種や在来種を守ることです。

- 水辺の命を守る
- 在来の樹林を守る
- 生き物のすみかを守る
- 啓発活動

を4つの柱として活動しています。



2ページの写真は4月12日に行った観察会の様子です。

天気にも恵まれ、エゾアカガエル、エゾサンショウウオの観察をし、カエル釣りに興奮しました。

3ページの写真は活動の様子です。

左上アライグマ捕獲のための箱罠設置の様子

左下観察会後生き物を顕微鏡などで調べる様子

右みんなで作った啓発看板の写真

2020年も旭山の生き物を守る活動に取り組んでいきます。

北海道e-プロジェクト2020活動として、4月6月9月にふしぎ池、円山川の源流、倒木の沢で自然観察会を行い、生き物調査を行います。昨年確認されたアライグマ対策にも取り組んでいきたいと思えます。

今年度もさらに活動の輪が広がることを期待しています。ありがとうございました。